



県議会では、県民の皆さんにとって身近でわかりやすい県議会を実現するため、議員が学校や大学等に出向き、児童・生徒や学生に県政の動きや議会の役割等を説明し、質問に答える「議員出前講座」を実施しています。

令和7年11月～令和8年1月にかけて、県内3校を訪問し、説明・意見交換を行いました。



令和7年11月6日(木) 国東市立国東中学校 3年生52名

参加した生徒の感想

- 議員の仕事や大分県の取組を知ることができた
- 選挙権を持つ3年後に向けて、政治に興味を持ち、自分の意見を持ちたい
- 議会は傍聴できると知り行きたいと思った



令和7年11月21日(金) 別府市立鶴見台中学校 3年生126名

参加した生徒の感想

- 授業で習った内容と関連し、理解が深まった
- 政治に興味を持ち、これからもっと学んでいきたいと思った
- クイズや質疑応答があり、楽しく理解できた
- 18歳になったら選挙に必ず行こうと決めた



令和8年1月26日(月) 豊後高田市立高田中学校 2年生107名

参加した生徒の感想

- 教育予算が1番多く、教育に力を入れているのだと分かった
- 難しかったため、これから詳しく学習しようと思う
- 選挙権を持ったら、しっかり考えて投票したいと思った
- 議員の任期が4年だと知った



令和7年度大分県議会ユースモニター

第二回意見交換会

表紙でご紹介した大分県議会ユースモニター第二回意見交換会の様子を紹介します。

「若年層にとって暮らしやすい県にするには」をテーマに、広報委員の議員と意見を交わしました。9月に開催した第一回意見交換会で多く意見がでた「働きやすい大分県」及び「暮らしやすい大分県」2つのテーマに焦点をあて、モニターに意見を伺いました。

①働きやすい大分県

○職業を選択した(する)ときに重視した(する)ことは何ですか？



- ・地元や馴染みのある土地で働く安心感や勤務地を重視
- ・やりたいことができる職場、社会貢献や地域活性化に関わる仕事をしたい
- ・家族や友人の近くで助け合える環境や、勤務時間・賃金などの福利厚生とワークライフバランスを重視
- ・大分県を盛り上げたい、地元貢献したいという強い思いが決め手
- ・そこで働くイメージが湧くこと



県外でも大分の企業説明会があり、企業を知る事ができた
県外の大学に在学中、大分で働く方がわざわざ大学まで来て仕事紹介をして
「ぜひ大分に帰ってきて」と声をかけてもらったことがきっかけ



○どのような職場であれば働きやすいと感じますか？

- ・カスタマーハラスメントの問題は深刻なため、県としての対策や支援が必要だと思う。また、カスタマーハラスメントの減少は、精神面での働きやすさの向上にも繋がる。
- ・県外に出た友人と話すと、「規模の大きい仕事に挑戦したい」「キャリアアップしたい」という強い希望を持っていることが多く、優秀な人材が都会に流れているのではないかと感じる。そこで、産官学が連携した取組を通じて大分県を盛り上げる後押しができれば、地域の活性化につながると期待する。



②暮らしやすい大分県

○みなさんにとって「暮らしやすさ」とは何ですか？ 実現するには、どうしたら良いと思いますか？

- ・暮らしやすさは、「移動のしやすさ」。生活の質に直結しており、交通アクセスの改善や車購入支援などを検討してほしい
- ・プロスポーツの応援等地域で一丸となって盛り上げると地域が活性化と思う
- ・専門性の高い人材が定着しやすくなるよう、教育機会を充実させること
- ・子育て支援の充実やSNSを活用した制度の認知度向上



○終了後感想○

こういう場は問題意識を持った若い方が来るので、今後も継続してほしい。2回を通して広報委員の議員の顔も知り、少し親近感が湧いたので、定例会や議案等に今後も注目していきたい。とても充実した会だったと思う。